

拠出金名：全米熱帯まぐろ類委員会拠出金

分担金・義務的拠出金の有無		有(農林水産省)		無	
当該機関等に対する分担金を含めた平成19年度の拠出総額				50,542千円(注1)	
国際機関等名	全米熱帯まぐろ類委員会 (英文名称・略称) Inter-American Tropical Tuna Commission (IATTC)				
種別	国連(事務局)	国連(基金・計画)	国連専門機関	その他	
所管官庁担当局課名	農林水産省水産庁国際課				
最近3年間の我が国支払額及びODA率					
単位	邦貨 (千円)	外貨1 (千米ドル)	外貨2 (千)	レート	ODA率(%)
平成19年度	0	0		1米ドル = 116円	0
平成18年度	0	0		1米ドル = 111円	0
平成17年度	21,859	204		1米ドル = 107円	100
当該拠出金の目的・用途等	標識放流によるメバチの生物学的情報の収集				
拠出上位5ヶ国・地域・機関等				国際機関等の財政 (2007年度決算)	
	国名	金額 (千米ドル)	拠出率(注2) (%)	当該年度の収入 8,571千米ドル	
1位	日本	204	78	当該年度の支出 7,645千米ドル	
2位	米国	57	22	次年度への繰越 926千米ドル	
3位				会計検査機関名	
4位				KMPG LLP	
5位					
上記の率及び順位は2005年のもの					
当該機関に対する我が国としての評価(当該国際機関の政策に対する我が国の意見の反映度を含む)					
IATTCは東部太平洋のマグロ・カツオ類の資源管理を目的とした地域漁業管理機関であり、我が国は1970年に加盟。同海域はキハダ及びメバチの好漁場であり、我が国漁船も年間マグロ類が約3万トン漁獲しており、我が国漁業者にとり重要な漁場。近年まき網操業による漁獲が急増し、効果的な資源管理の導入が急務となっており、IATTCの果たす役割は重要であると評価。					
合理化、機能強化のための改革が行われているか。 行われている場合はその現状と我が国としての評価					
IATTCにおいては、毎年加盟国に対して拘束力を有する措置を含む新たな保存管理措置等が取り入れられるように協議が行われており、我が国としては、それらの措置の策定過程にも積極的にかかわる等科学的根拠に基づく保存管理措置を支持する立場にある。このため、我が国等が拠出金を提供し、各種科学調査を実施することにより、機能強化が図られている。					
邦人職員数	0人	当該機関の職員数及び		60人	
うち幹部以上	うち 0人	邦人職員が職員全体にしめる率		0%	
邦人職員が占めている幹部ポスト					
ポストの名称		職員氏名		備考	
なし					
当該機関重要ポストへの邦人職員送り込みについての具体的な計画					
未定					

(注1)本委員会に対し、平成19年度における我が国からの拠出は、分担金のみ。

(注2)我が国と各国とは会計年度が異なるため、拠出率については暦年(2005年)。